

武蔵野大学 2022年度 出張授業 テーマ一覧

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご用意 いただきたいもの
サステナビリティ学科	1	明石 修	SDGsでつくる持続可能な未来	これからの社会を考える際のキーワードであるSDGs（持続可能な開発目標）の基本的考え方を学び、それを達成するための様々な取り組みについて考えます。SDGsを体感的に学ぶカードゲーム（2030SDGs）も実施可能です。	講義＋演習	プロジェクター、スクリーン (カードゲーム実施の場合には、その他の設備も必要になります。ご相談ください。)
	2	明石 修	バーマカルチャー入門 ー食料、水、エネルギーを持続的に得るための環境システムデザインー	自然生態系に負荷をかけず食料、水、エネルギーを持続的に得るための環境デザインであるバーマカルチャーについて紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	3	伊尾木 慶子	森林や緑地と人々の関わりを考える	森林と人間の関わりは時代とともに変化してきました。都市の緑地から熱帯林まで、様々な森林と人々の関係について述べ、生物多様性などの視点から今後どのように保全していくかについて議論します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	4	磯部 孝行	国際的な資源循環を考える	最近、中国が廃プラスチックの輸入が禁止され話題になりました。現在、日本の廃棄物は多くが海外に輸入されている状況であり、それらには有害物質などを含むものがあります。その現状について紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	5	門多 真理子	食品廃棄物のエネルギーリサイクル	都市で大量に発生する食品廃棄物は化学エネルギー多く持つ資源と捉えることができます。そのリサイクル品であるバイオガスは都市で需要があります。このリサイクルプロセスであるメタン発酵を紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	6	白井 信雄	サステナブルな社会（持続可能な社会）入門	サステナブルな社会（持続可能な社会）とはどのような社会を目指すことなのでしょうか。それを目指すことで、これまでの社会の何をどうやって変えていくのでしょうか。持続可能な社会の考え方を理解し、具体的な社会像を考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	7	白井 信雄	気候変動への2つの対策を考える	気候変動への対策には、緩和策と適応策という2つがあります。緩和策とは二酸化炭素等の対策を減らすこと、適応策とは緩和策の最大限の実施でも避けられない影響に備えること。この2つの対策の考え方と具体的な実践方法を考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	8	白鳥 和彦	「エコラベル」を知ろう	身近にある「エコラベル」はどのようなものか。どのように作られ、表示されているのか。それを使うことによりどのようにして環境に役立つのか等を学ぶとともに、環境問題の解決につなげようとする企業活動や環境学について紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	9	高橋 和枝	資源循環を日常生活から考える	健全な資源循環のために、われわれにできることを日常生活から考えます。電子機器に使用されているレアメタや大量消費・廃棄されているプラスチック等、できるだけ実物を見ながら考える授業をします。	講義	プロジェクター、スクリーン
	10	真名垣 聡	世界の海のプラスチックごみを減らすことはできるか？	世界の海を漂う海洋プラスチックは約5兆個あるとの報告もあり、生態系への影響が懸念されています。この講義では海ごみ削減の対策に役立てるための研究活動である、最新の小型海ごみ回収装置を用いた分析結果（内訳や種類）や大学での活動を紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	11	真名垣 聡	リスクのものさしで環境にやさしいを測る	主に「環境リスク」についてわかりやすく説明します。毒物として知られるダイオキシンと食事に使われる塩ってどっちが危険なの？ という問いをリスクから説明します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	12	村松 陸雄	「心理学」×「環境学」で持続可能な未来をつくる	人間の心理やコミュニケーションを応用した人間行動デザインを用いた持続可能な未来のつくり方を考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	13	木下 修一	世の中のつながりを科学する	人間関係を表すSNSから、企業間のお金のやり取り、細胞内の代謝システムまで、ネットワークとして表現できる現象は多々あります。本講義では、簡単な事例と数学を使ってネットワーク科学の魅力を学びます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	14	松家 敬介	漸化式による数理モデル入門	様々な現象を数学の言葉で表したものを数理モデルと呼び、この数理モデルを調べることで現象の理解につなげられます。本講義では、漸化式による数理モデルの実例をいくつか紹介しながら数学の応用について学びます。	講義	
	15	坪井 俊	対称性の数学	対称性をもつものは人目を引くような気がします。対称性をもつものを眺めると、しばしば三角定規の形が隠れていることがわかります。数学者はこのような対称性を扱うために「群」を考え出しました。多くの数学者が様々な群を研究しています。この流れを踏まえ、対称性を見つけていただくところから、対称性というものの持つ法則性の発見へつなげることを紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	16	上山 大信	GPSの数理	日常生活において、なくてはならないGPS。スマホのマップアプリは毎日活用するアプリの一つですが、なぜ自分の位置が正確にわかるのか、不思議に思いませんか？その原理は簡単な数学で理解できます。	講義	プロジェクター、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
数理工学科	17	高石 武史	数理モデル入門	人口増加、噂の伝搬など、身近な話題を数理モデルで考えます。数列や微分の考え方を使い、いろいろな現象をどのように数式で解いていけるかを学びます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	18	阿部 修治	カルノー機関	熱力学の発展に大きく貢献した19世紀フランスの技師サディ・カルノーの理論（カルノーの定理）の功績と意義について解説する。（『物理』履修者対象）	講義	プロジェクター、スクリーン
	19	西川 哲夫	データサイエンスによって、世の中の様々な問題を解決する	近年、実験技術、インターネット、計算機の進歩により、あらゆる分野で莫大な量のデータが生み出されています。このデータを活用して問題解決を図る「データサイエンス」のインパクトについて具体的に学びます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	20	佐々木 多希子	公式のない方程式を解くには？	微分を用いて現象を方程式にし、その方程式の解を調べることで、現象についての本質的な理解や有益な予見を得ることが出来ます。ところが、微分を使った方程式の解を具体的に求めることが常に可能であるとは限りません。解が存在しないため、解を求められないということではありません。よく知られている関数を使って、解を表現する公式が無い、ということです。この問題の解決策を考えます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	21	櫻井 建成	身近にあるリズムの科学	バネの振動、音の発生、月の満ち欠け、橋の揺れ、心臓の鼓動など時間的に変化する現象（リズム）が私たちの身近に溢れかえっています。それらリズムの特徴を抜き出し、高校での学習内容と対応させながら、理解することの楽しさを学びます。 どの分野（物理学、数学、化学、生物学もしくは理科一般や文系の生徒など）の視点からの講義が良いかお知らせください。	講義	プロジェクター、スクリーン
	22	櫻井 建成	身近にあるリズムやかたちの科学	心臓の鼓動など、リズムを刻むように時間変化する現象があります。私たちは、“リズム”の発生とそれを基にした“かたち（パターン）”の形成（秩序形成）に興味を持ち研究を行っています。秩序形成を自然現象や生命現象と関連づけながら紹介します。 どの分野（物理学、数学、化学、生物学もしくは理科一般や文系の生徒など）の視点からの講義が良いかお知らせください。	講義	プロジェクター、スクリーン
	23	櫻井 建成	振動する化学反応	Belousov-Zhabotinsky(BZ)反応と呼ばれる化学振動反応の実験を行います。この化学反応は色が周期的に変化したり、自発的なパターンの形成が見られたりするため、高校での研究テーマとしても取り上げられることがあります。ここでは、高校ではあまり行われていない光照射によるパターンの制御やBZ反応を用いた画像処理、生化学や生体信号処理との関係などを実験を通して考えます。	演習	理科実験室の使用 (試薬などは本学が準備)
	24	櫻井 建成	ジェネラティブアートと数学	数学的なシステムに従って生み出される芸術作品をジェネラティブアートと呼びます。基礎編では、コンピュータの中でアートを描く手法を学びます。応用編では、数学的システムが生み出すアート（秩序）に無秩序の要素を加えた場合の自然科学的な面白さへと繋げる例を考えます。	演習	PC
25	時弘 哲治	パラドックスと数理	「アキレスと亀」や「嘘つきのクレタ人」などのパラドックスは、高校から大学への数学、数理科学の橋渡しとなる面白い題材です。こうしたパラドックスを考察することで、無限を取り扱う数学や、生命の本質を明らかにする数理が生まれたことをお話したいと思います。	講義		
建築デザイン学科	26	金 政秀	環境と形	自然、伝統的民家、現代建築における環境に適応した機能とその形態について講義を行います。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	27	宮下 貴裕	自分たちの街の環境について考える	学生達が普段生活している街や空間がどのように成り立っているのかを一緒に考えます。環境に注目するアプローチを紹介するとともに、グループワークで地図に書き込みを行いながら、学生達に身の回りの環境の魅力や課題を見つけ出してもらいます。	演習	プロジェクター、スクリーン、学校周辺の地図（A3用紙1〜2枚に印刷）
	28	伊藤 泰彦	こどもと建築 -学びの場とまちづくり-	衣食住の3要素のうち、学校におけるこどもの住教育は取り組みが少ないと言われています。教員が直接関わる地域活動を題材に、こどもと地域の学びを紹介し、モノだけではなくコト・ヒトの建築的デザインについて考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	29	伊村 則子	まちを防災視点で観る	普段生活するまちを、防災の視点で観察し、どのようなまちの要素が災害時に役立つのか、危険要素になるのか、平時に改善できるのか、教員が関係する地域連携活動を題材に考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	30	田中 正史	建築と技術	我々が生活する社会では、どのような技術が活用されているのか。建築物における工学原理の事例を紹介するとともに、安全について授業を行います。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	31	佐藤 桂	地球規模で考える建築の役割	人間の歴史とともに建築の歴史があることを改めて地球規模で考えることで、これからの建築のあり方について一緒に議論します。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
	32	太田 裕通	居住のデザインへのアプローチ	建築・都市・地域の自己組織化を育み、持続的な住環境を目指す居住のデザインについて、身近な身辺環境から、国内外の事例を通して、一緒に考える機会とします。その上で空間を扱える建築学の強みも語ります。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	33	水谷 俊博	建築をデザインすることを考える	建築のデザインに関して事例を挙げながら説明するとともに、大学でいこう建築の設計に関する取り組みを紹介します。また、実際にグループワークにより簡単なデザイン（設計）を手を動かしながら体験してもらいます（実施は人数により検討）。	講義（+演習）	プロジェクター、スクリーン、普通紙（A3かA4人数分） 【生徒】鉛筆などの絵をかける筆記用具
	34	風袋 宏幸	建築のエレメント	建築は壁、窓、屋根など多くのエレメントが組み合わさってできています。この授業では、特定のエレメントに注目して観察することから、建築デザインの考え方を探ります。	講義	プロジェクター、スクリーン
データサイエンス学科	35	上林 憲行	21世紀で最もセクシーな職業、それはデータサイエンティスト	近年、データサイエンティストという職業が注目されています。データサイエンティストは一体どんな職業なのか。本授業ではデータを活用した結果から現場に貢献するデータサイエンティストについて紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	36	中西 崇文	人工知能と暮らすちょっと近い未来を考える	本授業では、現在の人工知能が具体的に使われている事例を説明し、人工知能技術が将来どのような問題があるか、将来人工知能と幸せに暮らすためにはどうしたらいいかを一緒にワークショップ形式で議論していきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	37	岡田 龍太郎	ビッグデータ×AI×音楽：コンピュータがあなたの言葉に合わせて作曲します。	近年、音楽等の創造性が要求されるような分野でも、人工知能を活用する研究が進んでいます。本授業では、データサイエンス、人工知能による創造性と可能性を自動作曲の体験を通じて述べていきます。	講義	プロジェクター、スクリーン、PCに接続できるスピーカー
	38	中西 崇文	画像でデータサイエンス	データサイエンスは単なる数値となったデータの分析だけでなく、画像、映像、音声などのメディアコンテンツの分析が主眼となってきています。本授業では、基本的な数学を簡単なプログラムに落とすことにより、基本的な画像処理を実際の演習により体験しています。（本授業で指す基本的な数学とは、複素数(数学II)のことであり、実際は、数学IIIの複素数平面の内容を含みますが、それを学んでいなかったとしても理解できる内容となっています。）	演習	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境 ※できれば生徒1台ずつブラウザが動作、インターネット接続可能なPC持参が望ましい
	39	中西 崇文	音でデータサイエンス	データサイエンスは単なる数値となったデータの分析だけでなく、画像、映像、音声などのメディアコンテンツの分析が主眼となってきています。本授業では、音をデータサイエンス的に分析するとはどういうことなのかを述べた上で、音をどのようにプログラミングにより生成することができるのか、そしてその音をどのようにデータとして扱い分析するのかを演習を交えながら解説していきます。また、グループワークにより、その音の組み合わせによる簡単な音楽を奏でていきます。（本授業では数学IIの三角関数の内容を含みます。三角関数のイントロダクションとして最適です。）	演習	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境 できれば生徒1台ずつブラウザが動作、インターネット接続可能なPC持参が望ましい
	40	佐々木 史織	ヒトの歴史とAI（人工知能）	本授業では、AI技術を「対象（モノ・コト・ヒト）の特徴・パターンを抽出する技術」と位置づけ、「AI×ビッグデータ×○○」という具体的な身近な例と、SDGsなどへの社会応用を複数紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	41	佐々木 史織	ビッグデータ○○世界地図づくり体験	今は誰でもGPS情報付きの写真や動画を投稿できる中で、時間と空間とAIで繋ぎ合わせる何が起るのか。本授業では、そんな○○世界地図システムの構築実験を体験し、SDGsなどの社会への役立て方について、議論します。	演習	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境
	42	林 康弘	ディープ・クリエイティビティ・トレーニング	アイデアを形にする作品制作のベアワークを通じて、常識や思い込みから抜け出し、一人一人の創造性を高めるトレーニングを行います。	演習	プロジェクター、スクリーン、PC、カメラ、スピーカー 【生徒】ペン、紙、ハサミ、ノリ、ホチキス、その他日用品
	43	林 康弘	フューチャー・ラーニング・エクスペリエンス	eラーニング、ビデオ会議システム、3Dプリンタ、プロジェクションマッピングをはじめ、教育向けIoT機器等を体験します。それらを有機的に活用した未来の学びをデザインするグループワークを行います。	演習	プロジェクター、スクリーン、PC、Webカメラ、スピーカー
	44	林 康弘	クリエイティブ・スキル・トレーニング	Scratchを使ったプログラミングを通じて、アイデアを具体化する方法を学びます。Webカメラをセンサーとして使う方法や、音楽や映像を取り扱う方法、など例を示しながら、作品制作を行います。	演習	プロジェクター、スクリーン、PC、Webカメラ、スピーカー
	45	中村 亮太	ユーザインタフェース～人と機械を自然に結びくみをデザインする～	画像・音声認識などの技術の向上により、ユーザに満足してもらえるアプリをデザインするための手法の紹介から、より直感的で自然な操作を可能にするNUI（ナチュラルユーザーインターフェース）について実演・解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	46	中村 亮太	micro:bitを用いたプログラミング的思考の体験	プログラミングの基本である順次制御や条件分岐、繰り返しなどについて、micro:bitを用いてLEDを光らせたり、スピーカー音を出して遊びながら学び、プログラミング的思考を強化します。	演習	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境、USBが使用可能なPC

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご用意 いただきたいもの
	47	長谷川 理	Swift Playgroundsではじめるプログラミングの基礎体験 ～初級～ (Everyone Can Code)	プログラミングの基本である順次制御や条件分岐、繰り返しなど、インタラクティブなコーディング環境を利用しながら学び、世界を変えることのできる何かを作るチャンスが誰にでもあるということを体感します。	演習	プロジェクター、スクリーン、生徒は各自iPadが必要
	48	福原 義久	イノベーションの源泉～思考プロセスと協働の力	世界を変えた革新的な製品やサービスを例題に、イノベーションの捉え方や、実現プロセスについて説明します。また、思考プロセスと協働を活用することで、誰でもがイノベーションを実現できることを解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境
	49	Thatsanee Charoenporn	Change Maker on the SDGs Implementation	The Sustainable Development Goals (SDGs), adopted at the United Nations Sustainable Development Summit are the blueprint to globally achieve a better and more sustainable future in order to leave no one behind. Various agencies around the world are trying to link their activities in accordance with SDGs, while "Science, Technology and Innovation" (STI) are mentioned as key mechanism for the sustainable development. In this class, we will intently understand SDGs by self-learning through a game. Case studies from various countries will be introduced as being lessons in developing/integrating new solution with STI. We will be "Change Makers" to create a better society.	講義	- Projector and Internet - Tables and chairs can be moved to set group game
	50	園崎 祐貴	HMDだけじゃない！VRの研究分野について	VRとしてHMDが目まわっています。しかしVRの研究というのはそれだけではありません。バーチャルな物を触ったときの感覚などいろいろな体験をする装置が研究されています。それらについて紹介していきます。	講義	プロジェクター、スクリーン、インターネットが接続できる環境
	51	石橋 直樹	インターネットのサービスはどう作られるのか？	皆さんが日常的に使っているWebサービスはどう作られているのか？基本的な技術要件に加えて、クラウドコンピューティングなど近年の傾向や、新しいサービスを考える視点について講義します。	講義	プロジェクター、スクリーン
アントレプレ ナシップ学科	52	伊藤 羊一	「やりたいことなんて、なくていい」 -自分がやりたいこと、目指す方向を知る-	主体的に人生を捉え、好奇心をもって生きていくには、自分自身を知り、自分の興味関心がどこにあるか知ることが必要です。自分の人生をグラフで表現し、グループで対話をしながら、自身の興味関心を探っていきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	53	伊藤 羊一	「1分で話せ」 -大事なことだけシンプルに伝える技術-	人を動かすためには、考えて、伝える技術が大事です。明日から使える「極意」を、演習を交えながら身につけていきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	54	荒木 博行、 伊藤 羊一、 津吹 達也、 寺田 知太 (いずれかが担当)	「世界一簡単な論理思考」 -主張と根拠のピラミッドを作ってみよう-	新しいビジネスアイデアを構想する前に、状況を分析したり、自分の考えを整理する論理思考が大事です。ここでは論理思考でベースとなる、「主張と根拠のピラミッド」を世界一やさしく身につける術を練習します。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	55	伊藤 羊一、 海野 慧、 篠田 真貴子 (いずれかが担当)	「ちゃんと聞く」技術	チームでことを成すためには、メンバーを盛り上げることが大事です。そのためには、コミュニケーションをとること！「ちゃんと話を聞く」のはスキルです。これができれば人間関係は怖くないです！	講義+演習	プロジェクター、スクリーン
	56	五嶋 一人	会社が儲かる仕組みを考える	内外のスタートアップを中心に新しいビジネスモデルを2~3つ紹介、その後グループワークで新規事業を考えてもらい発表、講師が講評します。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、グループ数分のホワイトボード or 大きな紙、ペン
	57	伊藤 羊一	「全てのものがインターネットにつながったら何が起きる？」 -インターネットや社会や生活の未来を考える-	全てのモノはインターネットにつながっています。そうなる何が起きるのか、私たちの暮らしはどうなるのか。発想を跳ばせて、みんなでこれから来る未来を考えてみます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	58	平石 郁生	海外ビジネス最前線 グローバルアントレプレナーを知ろう！	失われた30年、日本社会と経済が停滞に陥るなか、なぜシリコンバレーに代表される海外からは途絶えること無くイノベーションが生まれるのか？日本がグローバル化していく必要性と解決策を探ります。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン
	59	井上 浄	世界を変える研究者の挑戦 ～好奇心に従え！～	価値の中心が「もの」から「知や情報」に移行する現代では、自身の「好奇的思考」により異分野間の「新結合」を生み、社会に新たな価値を創ることが求められます。主に研究の魅力と「新結合」について考えます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン ※ワーク希望の場合はA4用紙、筆記用具
	60	海野 慧	ソーシャルビジネス最前線 社会課題の解決とビジネスをどう両立させるのか？	SDGsという言葉と共に耳にする機会が増えたソーシャルビジネス。どんなビジネスがあるのか、社会課題の解決とビジネスは両立できるのか？今後我々はどう社会と向き合うのか？これらの問いに目を向けていきます。	講義+演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、ペン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
	61	五嶋 一人	スタートアップという「進路」	内外の有力起業家やスタートアップの紹介により、「起業」という生き方を知り、関心を持っていただきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	62	五嶋 一人	株式から学ぶ資本市場	中高生にも馴染みがある上場企業の現状を2社～3社紹介し、資本市場への興味を持っていただきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	63	寺田 知太	実現したい未来シナリオの創り方	5年後、10年後にどんな世界になるかを自ら描いて、自分たちが実現したい未来シナリオを選び取る方法論を体験してもらいます。	講義＋演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、筆記用具、ポストイット
法律学科	64	荒木 泰貴	自動車の運転と刑事罰	なぜ刑罰を科すのかについて、自動車の運転という身近で、かつ、厳罰化が進行する領域を素材に検討します。(対面・オンラインのいずれでも対応可)	講義	
	65	金尾 悠香	「働く」を会社法から考える	会社法の役割・仕組みを学んだうえで、取締役・その法的責任を題材に、「働く」ということについて、参加者と一緒に考えます。(オンラインでのみ対応可)	講義	
	66	金 安妮	超高齢社会と民法―JR東海事件を題材として	法律学とはどのような学問なのか、民法とはどのような法律なのか、ということの説明した上で、「認知症老人による不法行為に関する近親者の損害賠償責任」について、一定の判断を示したJR東海事件の最高裁判決を題材として、超高齢社会における民法のあり方を考えます。(オンラインでのみ対応可)	講義	
	67	鈴木 清貴	法学案内	通常の大学の講義と同じ内容・レベルで、民法の講義を実施します。興味深い事例を素材として民法の条文の解釈を行います。受講者と一緒に考える作業をして、充実した時間を共有したいと考えています。(対面・オンラインのいずれでも対応可)	講義	
政治学科	68	ドナ・ウィークス	オーストラリアと日本：2つの島国の安全保障観	日本とオーストラリアの相違点、類似点を検討しながら地域安全保障の現実と展望を考察する	演習	PC、プロジェクタ、スクリーン
	69	後藤 新	「歴史」を学ぶということ	みなさんは「歴史」を暗記科目と思っていませんか？たしかに人名や出来事覚えるのは大切ですが、実は違うのです。この授業では、「琉球処分」を事例に大学における「歴史」の学び方について考えます。	講義	PC、プロジェクタ、スクリーン
	70	高橋 正樹	8人と38億人の資産が同じ	世界の富豪トップ8人の総資産と世界の所得の下から38億人の総資産が同じという極端な格差があります。世界の不平等の現実とその原因を歴史的に考えていきます。	講義	PC、プロジェクタ、スクリーン、世界地図
	71	下條 慎一	個人と共同体	個人と共同体の関係はどのようにあるべきかという問題について、近世以降のヨーロッパ政治学史をたどりながら、現代日本の選択的夫婦別姓と生活保護制度を例に考察します。	講義	
	72	杉野 綾子	アメリカの大統領はどれくらい偉いのか？	米国大統領が、国際社会で大きな影響力をもつことを、疑う人はいないでしょう。けれど米国大統領は、多くの制約に直面し、自分の政策の実現に苦戦する弱い存在でもあることを、日米の政治制度の違いを比較しながら理解します。	講義	PC、プロジェクタ、スクリーン
経営学科	73	宍戸 拓人	ビジネスと心理学 ～心の理解から始める経営学～	心理学をビジネスで正しく応用できている会社は、人や社会をしあわせにすることができ、その対価として売上と利益を稼いでいます。本授業は、「心理学にもビジネスにも興味がある人」に最適な内容となっています。	演習	筆記用具(それ以外はこちらで準備します)
	74	宍戸 拓人	ビジネスとデータ分析 ～数学が苦手でもデータを価値へ変えられる～	世の中には、数学が得意ではないのに、データを価値に変えることで、会社と社会に大きく貢献している人々がいます。本授業は、「データ分析には興味があるけれど、数学が苦手な人」に最適な内容となっています。	演習	筆記用具(それ以外はこちらで準備します)
	75	宍戸 拓人	新しいリーダーシップのかたち ～全ての人々がリーダーシップを発揮する社会へ～	力強く人々を導いていくことを、唯一のリーダーシップのあり方だと考えているならば、それは正しくありません。本講義は、「自分のことをリーダーシップとは無縁だと感じている人」にこそ最適な内容となっています。	演習	筆記用具(それ以外はこちらで準備します)
	76	榮田 悟志	あといくら売上げれば利益が出るのかを会計から考える	商売を行っている以上は、利益を出すことが目標となります。会計上の数値である費用と原価を変動費と固定費に分解することで、あといくら売上を伸ばすことで利益がでるのかがわかるので、経営判断に役立ちます。	講義	PC画面を写して講義ができる教室
	77	船越 洋之	CASIOの電卓を使って「電卓の効果的な操作法」を考える	身近な存在である電卓ですが、その使い方に関しては意外と知られていません。実はとても便利で賢い操作方法がたくさんあります。簡単な例を用いて、その一端を紹介したいと思います。	演習	可能ならGTキーのあるCASIO製の電卓を用意してください。
	78	鷹野 宏行	NPOって、何を財源に運営しているの？	NPOという用語の普及、数の増加が進むものの、その非営利活動という概念の正確な理解が進んでいないのが現状であります。この授業は、わかりやすくNPOの運営の基本原則を説明します。	講義	プロジェクター、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
会計ガバナンス 学科	79	青柳 達朗	経済活動と租税法	人が生活していくことは、経済活動を行っていることです。一般市民の生産、消費という経済活動の中で納税義務がどのように発生し、それがどのように納付され消費するかについて、説明し、租税が人間が生活していく上で避けて通れないことを学びます。	講義	
	80	鶴川 正樹	財務諸表の見方、分析の入門	財務情報（主に財務諸表）には、それを作成する立場（企業等）と利用する立場（投資家、銀行等）がありますが、ここでは、財務諸表の見方、分析の方法の基礎を学びます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	81	星野 雄介	会計学を学ぶと何ができるようになるのだろうか？	多くの会計学教育は知識を学び、簿記と企業分析のスキルを高めることを中心としています。しかし同時に、会計学は学問でもあります。そして近年の実証研究では、扱う対象が非常に自由になってきました。この講義では、会計の知識が分析と研究にどのように使われているかを、実務と研究の両面から見ていきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	82	佐藤 正隆	企業のボトルネック解消方法について考える	企業はボトルネックをどのような意思決定のもとで、解消しているのかを事例を用いて、検討する。また、中核の概念である継続改善プロセスを利用し、身の回りのボトルネック及び解消方法について一緒に議論する。	講義	プロジェクター、スクリーン
	83	高橋 里枝	グローバル経済と税 ～税金ゲームをやってみよう～	企業活動において、国境を越える取引は避けられない。日本企業もグローバル経済の中で競争している。このような中で、「税」は、企業の意思決定に重要な論点として位置づけられている。国が異なれば、「税」額が異なることなどゲームを通して学んでもらいます。	演習	プロジェクター、スクリーン、A4用紙、筆記用具
	84	海野 正	企業は誰と共に歩むのかを考える：株主とステークホルダー	企業の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に影響を与える関係者は誰かを考え、企業の目的や役割、会社の所有と経営、事業の執行と監督、監視とインセンティブなどの視点を踏まえて、関係者間でどのような関係が必要か課題を議論します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	85	鈴木 純一	金融機関の新たな役割	金融機関は、個人や企業のお金を取り扱うだけでなく、お金に関するアドバイスや、事業の成長・継続・承継のための支援を行うことで共存共栄を図っています。そうしたこれからの仕事の一端を財務諸表を使いながら解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン、できれば、インターネットが接続できる環境
グローバルコミュニケーション 学科	86	櫻井 千佳子	きっと英語が好きになる学習法	英語を学習するのは、入試のため？ 資格のため？ 英語学習を、自分とは異なる言語文化への扉を開けることだと捉えて、学習法を見直してみよう。学部と大学院でアメリカに留学した講師が、現地での学びを紹介します。	授業形式は、 講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	87	櫻田 怜佳	ことばを通して見る文化・社会	挨拶、感謝、依頼などの日常の言語行動は文化によって異なるということを知っていますか？ 実際のコミュニケーションの事例から、その言語文化で共有されていること、大切にされていることについて考えます。	授業形式は、 講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	88	AlbertR.Zhou	言語の接触と異文化交流を考える	日本語、英語及び中国語から外来語などの言語の接触の例を取り上げ、言語がいかに文化交流と共に影響し合い、新たな表現が生まれるのか、また、これは外国語学習及び異文化理解に何を示唆しているのかを考えます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
日本語コミュニケーション 学科	89	神吉 宇一	日本語のコミュニケーションについて考える	この授業は、適切なコミュニケーションについて学ぶことを目的とします。まず、簡単に理論的な事柄を学んだ上で、グループワークを通して、生徒さんたち自身が日常生活での自分たちの言語使用を分析的に考えます。	演習	こちらで準備する配布資料を印刷したもの（A4で1～2枚+A3で1枚程度）、付箋紙（75mm×25mm）を4～5人のグループにつき1セット（色指定なし）、受講人数が30名を超える場合はプロジェクターとスクリーン
	90	藤浦 五月	母語話者なら簡単に教えられる？ - 日本語教師という仕事	「日本語を教えて」と言われて初めてことばを教える難しさに直面する人は多い。この授業では、日本語を教える難しさ・やりがいについて例を交えて説明する。また、日本語母語話者・非母語話者が共に日本語教師を目指して学べる科目を持つ本学での取り組みについても紹介する。	講義	プロジェクター、スクリーン、配付資料印刷
	91	武藤 裕	分子のかたちと薬の働き	分子のかたちから薬の作用、副作用を明らかにしてきた実例（分子標的薬、あるいはサイリドマイドなど）について説明します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	92	土方 貴雄	ことわざを解剖学的視点からみる。	「咽元通れば熱さ忘れる」、「目糞鼻糞を笑う」「食べてすぐ横になると牛になる」「目から鼻に抜ける」などの意味を解剖学的見地から考察する。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	93	土方 貴雄	ウイルス感染について	ウイルス感染の仕組み、ウイルス感染対策、ワクチンについての基本的なことを身近な話として提示。	講義	プロジェクタ、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
薬学科	94	川原 正博	ウナギから認知症の薬を作る	年々増加している老年性認知症の発症を抑えることは、我々の社会にとって重要です。我々は、ウナギなどに含まれるカルノシンが脳血管性認知症に有効であることを見だしてきましたので、その作用についてお話しします。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	95	川原 正博	アロマ精油は脳に働くのか	アロマセラピーで用いている精油には、脳神経系に作用するものも数多くありますが、その作用については未知の状態です。神経細胞を用いて精油の新たな効能を探る試みについてお話しします。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	96	山下 直美	アレルギー性疾患と治療薬	大学の薬学部では、人体について、疾患の成り立ちも学びます。その事により、どの治療薬をどのように用いることが適切かを知ることが出来ます。アレルギー疾患を例に紹介したいと思います。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	97	室井 正志	食品由来の発がん物質	食品中に発がん物質が含まれているとは意外ですが、実はがんによる死亡の原因は喫煙とともに食事が最も大きな要因となっている	講義	プロジェクタ、スクリーン
	98	阿部 和穂	小さな一粒の薬が大きな病気を治してくれるワケ	薬の歴史や、薬の副作用に対する考え方などを具体的に説明することで、薬学を学ぶことの楽しさ、薬学の実存意義などを伝える講義です。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	99	阿部 和穂	なぜ未成年はお酒やたばこを禁止されているのか	なぜ未成年はお酒やたばこが禁止されているのか、さらには麻薬や覚せい剤・大麻などが厳しく規制されている理由を薬理学的視点から解説します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	100	阿部 和穂	脳科学入門	脳研究の面白さを紹介する。大学で研究に携わってみたいと考えている高校生にぜひ聞いていただきたい内容を解説します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	101	瀧 進	体の中での薬の動きをコントロールする	副作用をなくすためには、薬の動きをコントロールして病気の原因となる場所にだけに薬を送り届けることが必要です。どうすれば、目的の場所に薬を送ることができるのか？薬の性質と体のしくみに着目して解説します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	102	永井 尚美	医薬品と薬（くすり）	医薬品と薬（くすり）は、日常生活では同義で使用されているが、どう違うのか？「医薬品」の定義、新薬の開発と日本での認可や販売の仕組みと薬学の関わりについて、新型コロナウイルス治療薬やワクチン等の身近な事例を挙げて紹介する。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	103	穴田 仁洋	くすりを化学の面から考える ～薬学と有機化学の接点～	有機化学は薬の効き方や性質、作り方、さらには生命現象を分子レベルで理解するための基礎となる学問です。なぜ薬学部で有機化学を学ぶのか、大学の有機化学はどのようなことを講義しているのか、その一部をご紹介したいと思います。	講義	プロジェクタ、スクリーン
看護学科	104	橋本 結花	看護の世界へ、ようこそ！ ～看護職になる道を知ろう～	看護職には、保健師、助産師、看護師などがあります。それぞれの職種の仕事内容、どのような学校に進んだらこの資格がとれるのか、活躍している場所などをわかりやすく紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	105	石橋 タミ	高齢者への看護について	超高齢社会の現在、何らかの病気を抱えながら生活する高齢者が増えています。病気をもつ高齢者の生活を支えるために必要な看護の視点について、若年者たちとの身体状況の違いや精神状況の変化など、映像を交えて紹介します。	講義	プロジェクター、PC、スクリーン、DVDプレイヤー
	106	安達 光樹	生涯スポーツとは	スポーツは一部のアスリートだけのものではなく、人生を豊かにする一つの選択肢として、全ての人がその面白さを楽しむ権利を有しています。生涯にわたってスポーツに関わるとはどういうことか解説をします。	講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	107	伊藤 撰子	小学校で英語をおしえるの？	小学校外国語教育では多くの場合、英語の専門指導員ではない小学校教員が指導をしています。どのように小学校では指導しているのか、演習と講義を通して、児童の学び方、指導の仕方についてを体験・解説します。	講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	108	上岡 学	部活動とクラブ活動	部活動の目的は何だろう？クラブ活動と何が違うのか。学校教育において現在部活動の指導をめぐる学校内外から問題提起がなされている。そのことをカリキュラムを含め様々な視点からとらえていきたい。	講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	109	江原 美明	英語を学ぶ方法について考えよう	高校英語は語彙や文法も中学より難しく大変な面もありますが、英語が出来ると世の中はずっと楽しくなります。英語学習に万能薬はありません。でも少しの工夫で道は開けます。そのきっかけ作りとなれば幸いです。	演習+講義	プロジェクタ、スクリーン
	110	大杉 健	A R Tの世界に冒険に出よう	一枚の絵をみながら見て、自分の考えを話し、友達の意見を聞く。対話による鑑賞を通して自分なりの価値を創造する体験を行う。鑑賞活動から美術における「主体的、対話的、深い学び」について考える。	演習+講義	プロジェクター・スクリーン・ホワイトボード
	111	小野 健太郎	「算数」の中にも見える「数学的な考え方」	いわゆる「数学的な見方・考え方」を体感することを目的とした演習を行います。算数科で使用される教材を利用して、「答え」を求めるのではなく「考え方」を検討することに重点を置いた体験を予定しています。	演習+講義	プロジェクタ、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
教育学科	112	勳米良 祐太	あなたの知らないひらがなの世界	ひらがなはなぜ「あかさたな」の順に並んでいるの？ 「おとうさん」と「おおかみ」はなぜ「オー」を別々の字で書くの？ ひらがなについて考えることで、「ことば」や「考えること」の楽しさにふれてみましょう。	演習	プロジェクタ、スクリーン
	113	佐藤 克士	小学校社会科の授業づくり	小学校社会科の授業づくりについて演習を通して理解します。具体的には、小学校社会科教科書の特質（諸外国との教科書内容構成の違いを含む）、教科書をもとにした授業づくりについて体験します。	講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	114	高橋 典嗣	母なる太陽の科学	太陽は46億年前に誕生し、恵みを受受した地球には生命が誕生しました。生命の源でもある母なる「太陽」の観測はガリレオから今日まで続いています。太陽表面の現象、コロナなど最新の太陽科学の知見を展望します。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	115	中川 洋子	多言語社会に向けて	国内では、私たちのまわりにはどのくらいの外国人がいるのでしょうか。そもそもまわりの外国人は、英語に通じる人々なのでしょうか。皆さんが学んでいる英語をどのように活かしていけばよいか考えてみましょう。	講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	116	中村 駿	テクノロジーを活用した教育の可能性	テクノロジーは私たちの社会を豊かにするだけでなく、新しい教育を実現する可能性も秘めています。授業では実際に機器体験をしながら、教育の可能性がどのように広がるか考えてみましょう。	講義+演習	プロジェクタ、スクリーン
	117	野中 繁	「理数探究基礎」の出前授業	「理数探究」は、生徒が自ら課題研究に取り組む高等学校の新科目です。高校生にとって身近な疑問から出発する観察・実験を行い、「理数探究」を体験するプログラムです。	演習	特になし
	118	初谷 和行	文学に親しもう	文学とはどのようなものか、文学作品を読むとはどのようなことか、そのようなことについて、実際に文学作品に親しむことを通じて考えたいと思います。	演習+講義	プロジェクタ、スクリーン
	119	樋口 昇	これからの理科学習を考えよう	これまでの小学校理科学習の課題を振り返り、これからの望ましい理科学習を考えます。実際に自然の事物・現象に触れるミニ実験を体験したり、師範授業のDVD視聴を通して、理科の問題解決の過程を体験します。	講義+演習	プロジェクタ、スクリーン、DVDプレイヤー
	120	廣瀬 裕之	漢字と書の世界へようこそ	象形文字の世界から今日の漢字の姿ができるまでを書道学と文字学からたどり、整った文字と芸術的な文字の違いと味わい方を探ります。また、なぜこのような筆順になったのかのお話や上手に書くコツについて語ります。	講義+演習	特になし
	121	渡辺 英雄	異文化理解と英語学習	英語を使ってコミュニケーションを取る時、文化の異なる人たちとコミュニケーションを取るようになります。日本国外で英語を教えた経験を活かして講師が異文化理解と英語学習について教えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
幼児教育学科	122	生井 亮司	子どもの描画活動と発達について	子どもの描画活動の魅力と意義について発達との関係から考えるとともに、アート活動の中にある探求や知性の特質を現代哲学や東洋思想との関係から考察します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	123	川上 暁子	身体を動かして表現活動をする体験	学科の授業、身体表現の指導法における入り口の部分の内容を講義と実践を交えて行います。身体の形（かたち）に着目する遊びをいくつか行って、保育者として子どもたちの表現活動を支援・指導することについて考えます。	演習	プロジェクター、スクリーン
	124	義永 睦子	みんなちがってみんないい、という保育	どの子どもも、一緒に楽しく過ごせる保育の場は、どのようにして実現していくのでしょうか。保育者の子どもの個性の捉え方と保育の内容や展開の工夫について、皆で考えてみましょう。	講義	プロジェクター、スクリーン
	125	今福 理博	幼児教育と発達心理学	ヒトの心は、いつ、どのように発達するのでしょうか。本授業では、発達心理学の観点から、これからの保育、幼児教育について考えたいと思います。	講義	プロジェクター、スクリーン
	126	小川 房子	昭和と令和 子どもを取り巻く環境の変化について考える	高校生が知らない昭和の時代の画像資料を紹介しながら、自分たちの幼少期（平成）を振り返り、さらには令和の子どもを取り巻く環境と比較考察し、幼児教育・保育の現代的課題と期待について一緒に考える。 ※保育内容（人間関係）に関連して	講義	プロジェクター、スクリーン
	127	小川 房子	幼児の視野を体験してみよう	5歳児の視野を体験できるメガネづくり、高さ1Mから見える世界を疑似体験します。その目の高さ（視野）で見たことを言葉や絵や粘土で表現する姿を通して、子どもの持つ力について考えます。事例としてレジー・エミリア（イタリア）の「群衆」を紹介します。	演習	プロジェクター、スクリーン 【生徒】糊、はさみ
	128	義永 睦子	子どもの気持ちを「読み取る」には	子どもたちは何をどのように感じ、過ごしているのでしょうか？ 子どもの心を読み取れるようになったら、どんなに素敵でしょうか。授業では、どのようなことを手掛かりに、子どもの様子を読み取り、寄り添うことができるかを考えます。	演習	プロジェクター、スクリーン
	129	高牧 恵里	リズムを感じて、表現してみよう	子どもたちは、音楽リズムを聴くと一人一人感じた動きを身体で表現します。子どもたちが素直に表現するリズムによる表現をリトミックを体験しながら、考えてみましょう。	演習	プロジェクター、スクリーン、 キーボード

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
	130	野島 正剛	相談を受ける時に気をつけること	保育者になると子どもや保護者から悩みを打ち明けられる事があります。こうした相談を受けるためには、相手を支えるための関係をつくる必要があります。この関係性をつくる方法を一緒に学んでいきましょう。	演習	プロジェクター、スクリーン
	131	松田 こずえ	SDGs の観点から考えよう！世界と日本の 幼児教育	世界では今、幼児教育の重要性に大きな注目が集められています。子どもの生涯の幸福に影響する可能性があるだけでなく、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとしても重視されています。グローバル、およびローカルな視点で、最新の教育事情をのぞいてみましょう。	講義	プロジェクター、スクリーン
	132	松田 こずえ	非認知能力って何？－海外の保育に学ぶ－	幼児教育の世界で話題になっている非認知能力について、海外の幼児教育を通して紹介します。非認知能力について考える簡単な演習にも取り組んでみましょう。	演習	プロジェクター、スクリーン
	133	松田 こずえ	子どもと共に、保護者と共に－保育者という キャリア選択－	保育士の国家資格を取得すると、保育所その他、認定こども園、児童養護施設、乳児院、障がい者支援施設、学童保育など、さまざまな場で活躍することができます。自分の好きなことを通じて、誰かの幸せに貢献できるって、幸せなことではありませんか？保育士、および幼稚園教諭という仕事について、写真を見ながら楽しく学びます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	134	峰 友紗	幼児期の運動、睡眠、スクリーンタイム	スマートフォン、タブレット、子どもを取り巻く遊びの環境がこの数年で大きく変わっています。子どもにとっての遊び環境を健康を切り口に考えてみましょう。	講義	プロジェクター、スクリーン
	135	峰 友紗	妊娠期からの子育て支援	子育て支援はいつから始まっているのでしょうか。妊娠期？もっと前から？それはどのような支援でしょうか？妊娠期からの子育て支援について、「親子の健康」という視点から考えてみたいと思います。	講義	プロジェクター、スクリーン
日本文学文化学科	136	岩城 賢太郎	教科書に見える日本の古典文学・古典芸能 について、もう一步、探求してみよう	国語科・音楽科・社会科（歴史）の教科書等にみえる日本の古典文学の作品、また古典芸能の紹介等をもとに、大学授業における原典本文の更なる分析や考察の入門編となる解説や講義を行います。そしてアニメーション、テレビドラマ、映画、漫画、ゲーム等への展開や影響等を受講者の皆さんと追跡してみたいと思います。 授業で扱う作品やジャンルについて要望等があれば御相談下さい。要望があればグループワークやディスカッション形式を交えます。	講義	プロジェクターやスクリーン、大型ディスプレイ等、映像・画像資料を少し大きく映写できる機器
	137	藤本 恵	変化する昔話－巖谷小波「小雪姫」を読む－	まず、明治時代に、日本の子ども読者に提供された昔話を紹介します。名前のとおり、昔から変わらないお話と考えられがちな「昔話」は、社会や文化のありようを反映して変化してきました。その事実をおしえて、児童文学と社会の関係を考えていきます。	講義	
	138	三浦 一朗	芭蕉「古池や蛙飛びこむ水の音」－有名な 作品を改めて読み直してみよう－	この授業では、芭蕉の有名な「古池や」の句を取り上げます。作品を表現に即して読み解くことを通じて作品から何が見えてくるのか、また、そのように作品を読むという行為が私たちにとってどのような意味を持つのかということについて一緒に考えてみたいと思います。	講義	プロジェクター、スクリーン、あるいはPCを接続できる大型のディスプレイ
	139	三浦 裕子	狂言の魅力－伝統芸能の世界に触れよう	能と狂言は室町時代に基礎を築いた演劇です。能が『源氏物語』などを原作に持つ歌舞劇・仮面劇であるのに対して、狂言は庶民のささやかな日常を描く喜劇です。〈鼻〉という作品を例に、狂言の世界を深く考えていきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	140	掛野 剛史	名作ができるまで――〈文豪〉の舞台裏を のぞく	夏目漱石「坊ちゃん」、芥川龍之介「蜘蛛の糸」など、よく知られたおなじみの名作が生まれるプロセスを、作家が残した自筆原稿を見ることで辿ります。	講義	プロジェクター、スクリーン
	141	室田 知香	『源氏物語』の和歌の解釈	平安時代の物語『源氏物語』から、解釈の分かれている和歌を含む場面をとりあげ、その解釈について考えます。受講に際しては古文を読むことができる力がある程度必要です。	講義	
	142	三好 伸芳	「主語がデカイ」ってどういうこと？ －日本語名詞句の意味論－	最近、「主語がデカイ」という言い方を耳にします。この授業では、「人間は害悪だ」などといった表現に対し「主語がデカイ」と感じるのは、名詞句に関する言語学的な問題が背景にあることを説明していきます。	講義	
	143	大島 武宙	歌を贈りあうこと－『万葉集』の恋	現存最古の歌集『万葉集』の贈答歌について、誰がどんな場面で作った歌なのか、それぞれの言葉がどんな意味で用いられているのかを参照したうえで、歌を贈り、それに答えることが、単なる言葉の情報伝達にとどまらない意味を持っていたことを考えます。	講義	
	144	城月 健太郎	ストレスと心理学	普段の生活で感じるストレスの仕組みについて、心理学の考え方で詳しく説明します。さらに、ストレスを解消するにはどのような方法があるかを解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
人間科学科	145	藤森 和美	子どものトラウマと心のケア	トラウマ（心的外傷）体験とはどのようなことか、トラウマが子どもの心と身体にどのような影響を与えるか、その後の心のケアはどうするか、周囲の大人はどのように支援するかを初心者のためにわかりやすく講義する。	講義+ワーク	プロジェクター、スクリーン、PC
	146	中島 聡美	犯罪被害者の心のケア	現代社会では、実際には多くの犯罪が起こっています。被害にあうことによる心の傷を理解し、周囲がどのようにかわられるのかについて考えていきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	147	小西 啓史	説得の心理学	相手の人にある働きかけをして、その人の態度や行動を変えさせることを「説得」といいます。日常生活のさまざまな場面で起こる説得を、社会心理学の視点から考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	148	辻 恵介	撲殺との親和性から引きこもりの精神病理を考える	日本で起きる殺人事件では包丁による刺殺が一般的ですが、引きこもりの青年が人を殺す場合、父母などの同居家族を鈍器で撲殺することが少なくありません。犯行の手口を通して、引きこもりの病理を検討していきます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	149	浅野 敬子	公認心理師の職責とは？	心理職の国家資格である公認心理師は、「公認心理師としての職責の自覚」を持つことが求められている。公認心理師としての職責とは何かについて概説し、公認心理師の主な業務内容について解説する。	講義	プロジェクター、スクリーン
	150	坂入 竜治	精神保健福祉士とソーシャルワーク	人間のライフサイクルにおいて、メンタルヘルスの課題は様々な局面に現れ、他人事ではない。メンタルヘルスの課題を抱える人々の生活を支援する精神保健福祉士の仕事とソーシャルワークの視点（人と環境の相互作用）について解説する。	講義	プロジェクター、スクリーン
	151	北條 英勝	「現代は幸せな社会か」を考える	現代は幸せな社会だろうか。日本社会の状態を表す様々なデータを参照しながら、社会学の視点から考えます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	152	五島 直樹	ヒトとヒトの関わり合いを生命科学で考えてみよう！	ヒトから人間が形成されてゆく過程では、ヒトとヒトの関わり合いが大切です。ヒトの体の仕組みには、ヒトとヒトとがコミュニケーションをとる仕組みが備わっています。この仕組みを生命科学の立場から考えましょう。	講義	プロジェクター、スクリーン
	153	日野 慧蓮	唯識学入門	5世紀インドの仏教に生まれた、唯識という学問は、無意識のうち人の行動を左右する深層心理について説明するものでした。アジアの伝統的な心の捉え方の一つである唯識について、簡単に解説します。	講義	
	154	矢澤 美香子	人生100年時代のキャリア・デザインを考える	近い将来、人生100年時代を迎えるといわれています。授業では、どのように働き、学び、楽しみ、生きるかを考えながら、キャリア・デザインの視点から自律的キャリア形成についての理解を深めます。	講義	プロジェクター、スクリーン
	155	泉 明宏	心と脳の不思議	ヒトは言語をはじめとして、他の動物には見られない高度な知的能力を持っています。ヒトの心と脳、そして複雑に発達した社会がどのように成立してきたのか、進化的適応の観点から解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	156	岩本 操	「精神保健福祉士」のしごと	「精神保健福祉士」は精神疾患やメンタルヘルスの課題を抱える方を支援するソーシャルワーカーの国家資格です。人々の心の健康増進に向けて人と社会の双方に働きかける精神保健福祉士の仕事の魅力を紹介します。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	157	小嶋 知幸	言語聴覚士って知ってますか？	脳の病気の後遺症などで、ことばが不自由になった方々にリハビリテーションを行う専門職について解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	158	嶋田 真理子	言語聴覚士の仕事とは？	リハビリテーション専門職の一つで、国家資格である言語聴覚士は、ますます高齢化する社会において、活躍が求められている職種である。言語聴覚士の主な業務と対象者について解説する。	講義	プロジェクター、スクリーン、PC
	159	畠山 恵	認知症とは？	高齢化社会が進むにつれ増加している認知症について、代表的な症状と、コミュニケーション上の対応の工夫について説明します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	160	羽毛田 幸子	刑事司法とソーシャルワーク	犯罪をしてしまう人々の中には、高齢や障害などによる「生きづらさ」を抱えた人が少なくありません。このような人々に社会福祉の専門職（ソーシャルワーカー）がどう関わっているのか、裁判や刑務所の例を挙げてわかりやすく解説します。	講義	プロジェクタ、スクリーン、PC
	161	出野 美那子	心理学からみる家族の健康	個人の健康と家族の健康とは、どのように関連しているのでしょうか？心理学の観点から、これからの家族のあり方を考えながら、家族の健康について解説します。	講義	プロジェクター、スクリーン
	162	北 義子	聴覚障害を考える	聴覚障害は「目に見えない障害」と言われ、当事者にも理解しにくい障害である。このような方々にどのような支援が可能であるか、医学の進歩とともに聴覚活用の可能性は格段に高くなっている。また、手話なども徐々に広がりを見せてきている。聴覚障害とコミュニケーションについて考える。	講義	プロジェクタ、スクリーン

学科	No	教員名	授業テーマ	授業概要	授業形式	高校でご利用 いただきたいもの
	163	一ノ瀬 正樹	哲学倫理学の世界 -日常に潜む謎-	日頃自明だと思っている前提について、実は私たちは本当に分かっているとは言えないことを暴き出す。過去の実在、法則の確実性、因果関係、道徳的善悪、人権、いのちの選別、死の有害性など、それらにまつわる謎を分かりやすく解説する。	講義	プロジェクタ、スクリーン
	164	菊池 安希子	触法精神障がい者とリカバリー	精神病の影響のもとで重大な事件を起こしてしまった人たちのための専門病棟ではどのような治療が行われているのかを紹介し、触法精神障がい者の社会復帰について考えます。	講義	プロジェクタ、スクリーン
教養教育	165	林 浩一	ロジカルシンキングで資料作成と議論のスキルを高める	論理に関する構造を文章から読み取ったり、自分たちの主張を組み立てを行う。グループワークで議論しながら行うことで、人によって捉え方が異なっていることに気づき、より正確に扱える力を身に付ける。	演習	プロジェクタ、スクリーン、各自PC(紙で行うことも可)
	166	渡邊 紀文	私たちの心を理解して寄り添う人工知能 -画像認識のデモを通じて-	人工知能研究の一つに、人を理解するための研究があります。授業では、ロボカップなどの人を支援する人工知能について紹介します。また画像認識のデモを通じて、人工知能がどのように人の役に立つのかを議論します。	演習	プロジェクタ、スクリーン、各自カメラ付きPC、インターネット接続環境
	167	大崎 理乃	誰もがみんなデザイナー -ものづくりとサービスづくりの未来-	ものやサービスを作るとき、人工知能やロボットと協業することが当たり前前の時代になってきました。どのように人間の活動をテクノロジーに支援してもらうか、良いものやサービスを作るためにはどうしたら良いか、デザイン活動の体験をとおして考えます。	演習	プロジェクタ、スクリーン、コピー用紙(A4またはB5サイズ)20×グループ数、クリップ 約30×グループ数、輪ゴム 約30×グループ数
	168	中村 太戯留	今日から君もデータサイエンティスト!	未来を予測するためにはどうしたら良いのでしょうか。予測したいことにまつわるデータを集めることです。授業では、自分たちの日常にまつわるデータ集めを通して、ものごとをデータで捉えるチカラを身につけます。	演習	プロジェクタ、スクリーン、各自PC(or 紙と筆記用具)、各自スマホ、インターネット接続環境